



三春中学校だより

第 45 号

発行日 平成 30 年 1 月 27 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【第 9 回田村地方交通安全大会開催！ ～交通安全はみんなの願いです。～】

1 月 19 日（月）、小野町において、第 9 回の田村地方交通安全大会が開催されました。交通安全に関するさまざまな取り組みを通して、交通安全に対する意識と態度を再確認しようというねらいのもとで行われました。

当日は、晴天の下、白バイ 2 台に先導され、小野新町小学校から同校の鼓笛隊や関係者のみなさんがパレードし、多目的研修集会施設で全体会が行われました。

県警音楽隊の演奏、交通事故犠牲者への黙祷、ご挨拶、表彰と会は進みました。さらに、1 市 2 町からの代表小学生 1 名ずつが、交通安全に対する意見発表を行い、大会宣言、万歳三唱で会は幕を閉じました。

間もなく、季節は寒さの冬を迎え、寒さや凍結等に起因する交通事故が心配されます。徒歩通学、バス通学、車による送迎も含め、何か緊急の時に自由に動け、手が使えるよう、ポケットに手を入れて歩くのではなく、手袋等を着用し、急ぐことにより転倒したりスリップしてけがをしたりすることがないように、時間や心にゆとりをもった生活・登下校を心がけたいものです。



【三春町民として大激走！ふくしま駅伝 ～満足の、そして、悔しさの弁もありました。～】

1 月 18 日（日）は、第 30 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）の日でした。

今年もさまざまなドラマを繰り広げつつ終了したふくしま駅伝でしたが、その解団式・慰労会にも参加してまいりました。

おそろいのウィンドブレーカーを身にまとったふくしま駅伝三春町選手団のみなさんは、入場後、ひな壇に勢揃いし、結果報告や監督の佐久間さんからのご挨拶などがありました。

町の部 4 位、総合 11 位という立派な成績にもかかわらず、満足いく走りとはならなかったというお話も複数聞かれましたが、決してそんなことはないと思いました。貝山グラウンドで、監督さんや係のみなさんと一緒にグラウンドをひたむきに走っていた選手のみなさんの姿を思い浮かべ、あれこそがふくしま駅伝が求める本当の姿だと強く思いました。たいへんお世話になりました。

自らの生まれ育ったふるさとのために、そこに生活する一人ひとりが、三春町民の一人として、自分のできる



ことにひたむきに、そして、こころ豊かに取り組んでいくこと。それがふくしま駅伝であり、中学生が、監督さんや関係者のみなさんと共にふくしま駅伝に一生懸命取り組んだという思いは、やがて、ふるさとの愛着や自信、誇りというものにつながっていくに違いありません。いや、そう確信いたします。

三春中も岩江中もなく、一緒にそれぞれの健闘をたたえ、仲良く話す中学生や高校生を見ると、挑戦したからこそ、苦しい思いを乗り越えたからこそ、この笑顔にたどり着けたのだなあという思いがしました。選手団のみなさんから、これからのがんばる力をいただいて、解団式・慰労会場を離れました。選手として実際に走った4名の三春中生のみならず、毎日練習に参加し、当日はバックアップに回った2名の選手のみなさんにも心から賛辞を贈りたいと思います。

【授業研究会を通し授業力向上に努めています！ ～研究と修養が公務員のつとめです。～】

学校の教員は、生徒に授業を通して学力をつけていくことが大きな仕事です。授業がわかりやすく、学力が身につけば、子どもたちはその先生を信頼しますし、逆に、わかりにくい授業をしていたのでは、学力は上がりませんし、子どもたちも学習に意欲ももちませんし、授業にもついてきてくれません。

そんな中、本校では、さまざまな行事等で慌ただしい中にあっても、指導案という授業の計画案を作成し、他校の先生方もお招きし、指導助言をいただきながら、授業力向上、教員としての資質の向上に努めています。

写真のとおり、1年生の英語の授業、3年生の数学の授業をはじめとして、多くの教科で授業研究会を実施し、授業後には、多くの先生方が集まって事後の話し合いをもっています。



【今後の生徒会について校長室で！ ～よりよい学校生活について真剣に相談しました。～】



先日、常任委員会の委員長さんが校長室に来室しました。「私たちの委員会の活動についてご相談があります。」とのことでしたので、一緒にお話をさせていただきました。

校長として三春中学校に来て1年半になりますが、委員会活動のさらなる活性化についての相談で校長室を訪れた委員長さんは初めてでした。それだけ一生懸命、自らの役割に自覚と責任をもって考えていてくれること、生徒のみなさんと学校の先生方が一緒になって、これまで以上の三春中学校をつくらうとがんばっていてくれることをとてもうれしく思いました。

校長として、委員長さんの考えを一生懸命聞きながら、そんな委員長さんの考え方や取り組みに感謝と敬意を表すと共に、一緒になってよりよい三春中学校をつくっていくよう、共にがんばろうとの激励の言葉を贈りました。

一方、11月26日（月）に行われた全校集会でも、委員会からの発表があり、2年生を中心とした新生徒会委員会の面々は、担当の先生と共に、三春中学校生徒会のますますの発展をめざして一生懸命取り組んでいます。

三春中学校の一人ひとりが、それぞれの委員会に分かれ、それぞれの場で三春中学校のよりよい発展をめざしがんばる姿、それはやがては、三春中学校全体の生活の質の向上につながります。三春中学校の一人ひとりがチームとしてがんばってくれていることはとてもうれしい限りです。自分のことと同じくらい、他の人のことを考えてあげられる、自立した存在こそ、三春中学校がめざす大切な生徒像の一つです。